

## サケ稚魚放流情報 No. 5



平成22年4月26日

岩手県水産技術センター

漁業資源部

TEL: 0193-26-7915

FAX: 0193-26-7920

E-mail: CE0012@pref.iwate.jp

さんりく基金 北里大学との共同研究

表面水温は、平年よりも1～3℃低く、餌環境は、県中部を中心に大型のプランクトンが優占して平年よりもきわめて良い状況となりました。

5月はプランクトン現存量が多い時期となりますので、海水温は低い状況ですが、無理な飼育をせずに適切に放流を進めてください。

### 1 表面水温

4月19、20日の平均表面水温(図1)は、宮古湾6.6℃(前年同期9.6℃、同期7年平均9.1℃)、山田湾6.7℃(10.5℃、9.2℃)、唐丹湾6.0℃(9.3℃、8.8℃※5年平均)、越喜来湾6.0℃(9.7℃、8.5℃)、大船渡湾6.8℃(10.5℃、9.9℃)でした。また、定地水温情報(いわて大漁ナビ)のデータを取りまとめると(図3)、4月中旬の野田湾で平均6.1℃(H7～H21平均7.5℃)、山田湾5.9℃(7.3℃)、船越湾5.9℃(7.6℃)、釜石湾5.8℃(7.3℃)、大船渡湾5.6℃(7.2℃)、広田湾5.5℃(7.4℃)でした。4月20日現在、野田湾6.94℃(前年9.79℃)、山田湾5.84℃(9.14℃)、船越湾6.17℃(9.60℃)、釜石湾6.11℃(8.98℃)、大船渡湾5.42℃(8.64℃)、広田湾5.45℃(8.97℃)と、全域で平年よりも1～3℃低い傾向にあります。

### 2 動物プランクトン沈殿量

4月19、20日のノルパックネット鉛直20m曳きによる動物プランクトンの沈殿量(図1)は、宮古湾 3.59ml/m<sup>3</sup>(前年同期0.63ml/m<sup>3</sup>、同期7年平均2.00ml/m<sup>3</sup>)、山田湾 2.73ml/m<sup>3</sup>(0.27ml/m<sup>3</sup>、1.02ml/m<sup>3</sup>)、唐丹湾 5.55ml/m<sup>3</sup>(1.78ml/m<sup>3</sup>、1.36ml/m<sup>3</sup>※5年平均)、越喜来湾 7.17ml/m<sup>3</sup>(0.99ml/m<sup>3</sup>、1.03ml/m<sup>3</sup>)、大船渡湾 1.49ml/m<sup>3</sup>(0.28ml/m<sup>3</sup>、1.17ml/m<sup>3</sup>)となりました。種組成では、小型の *Pseudocalanus*(図2 C)が数で、大型の *Neocalanus*(図2 A)が量で優占しています。プランクトンは、県中部を中心に大型の種類が優占し、平年よりも多くなりました。

### 3 その他

毎日の水温情報は、今年新しく生まれ変わりました「いわて大漁ナビ」をご覧ください。

いわて大漁ナビ : <http://www.suigi.pref.iwate.jp/> (PC)

: <http://www.suigi.pref.iwate.jp/m/> (携帯)

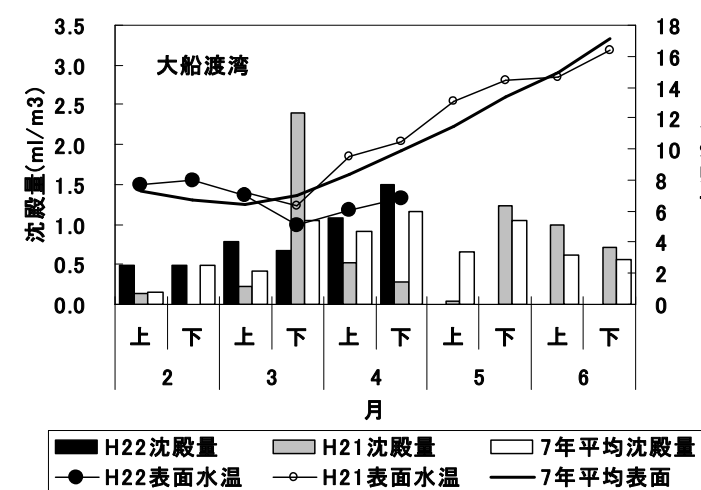
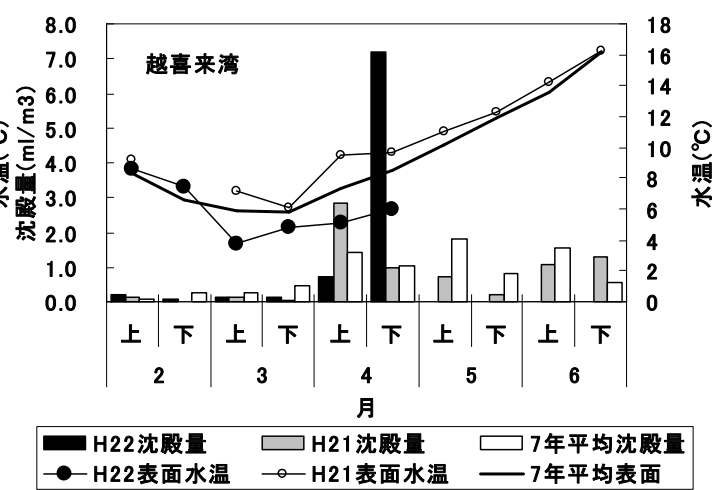
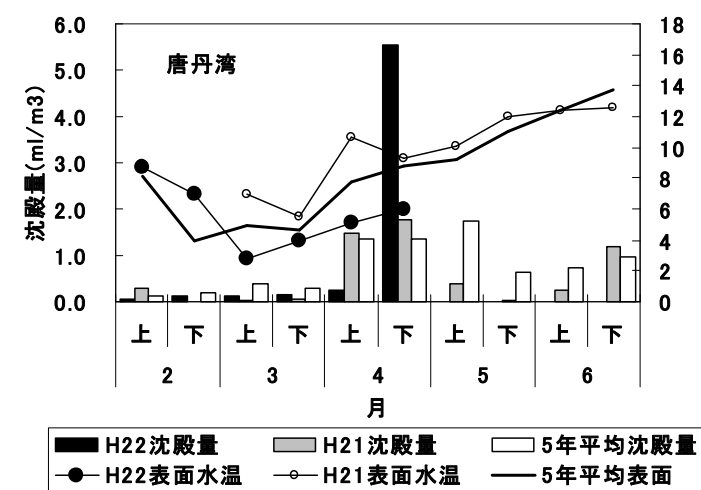
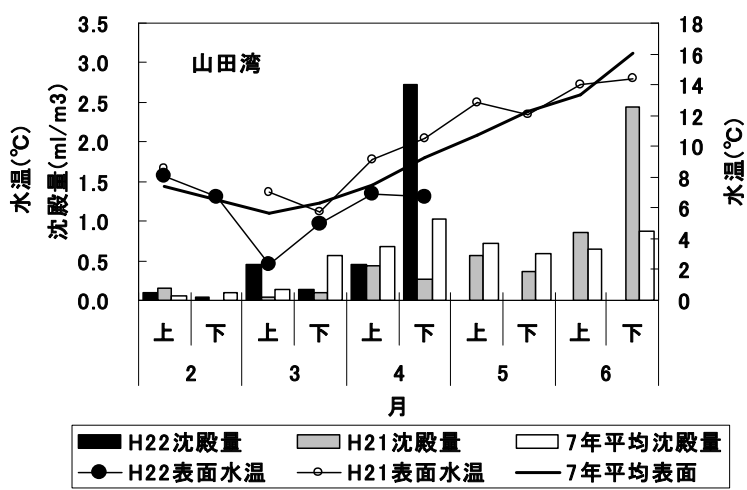
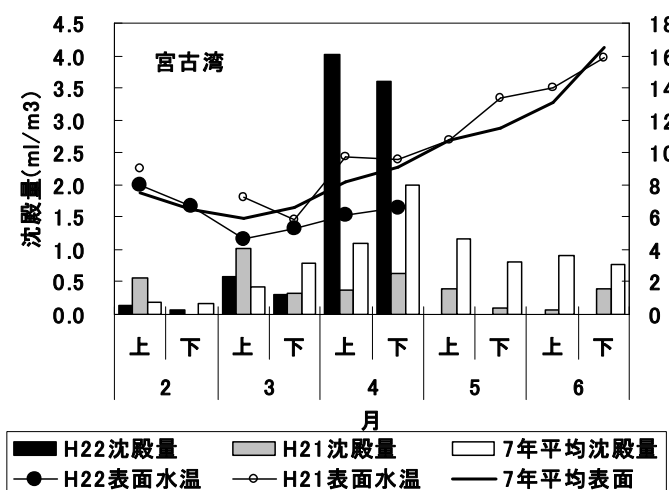


図1 5湾における動物プランクトン沈殿量および表面水温の季節変化

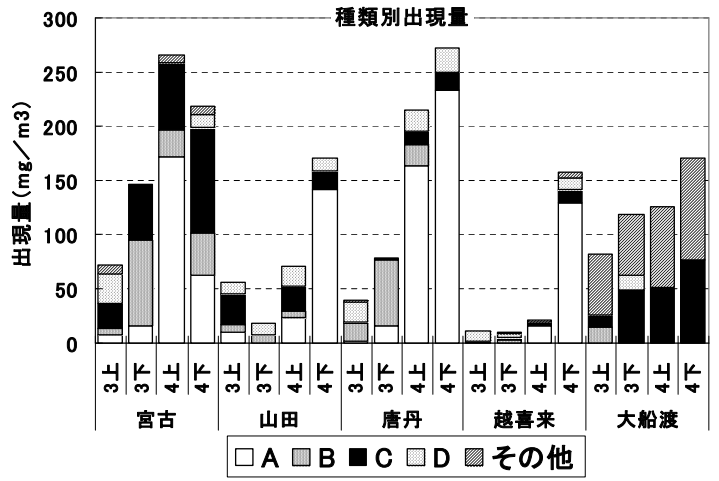
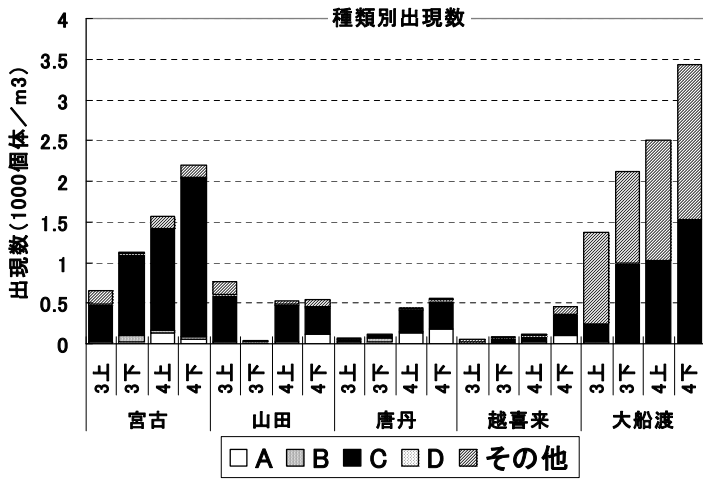


図2 5湾における動物プランクトン組成 (左:出現数、右:出現量)

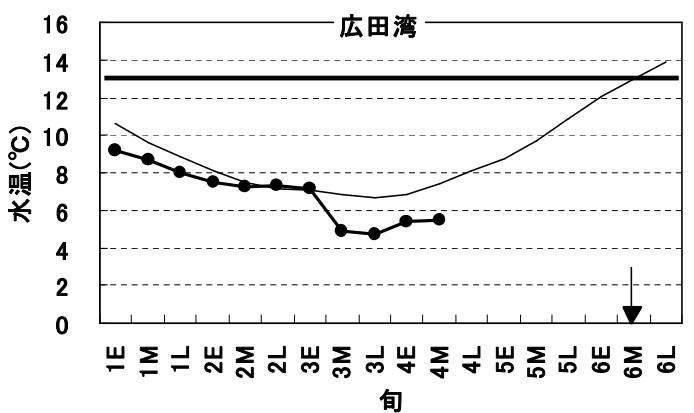
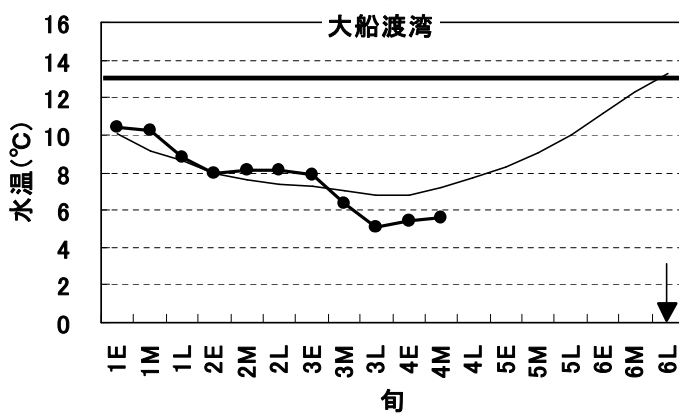
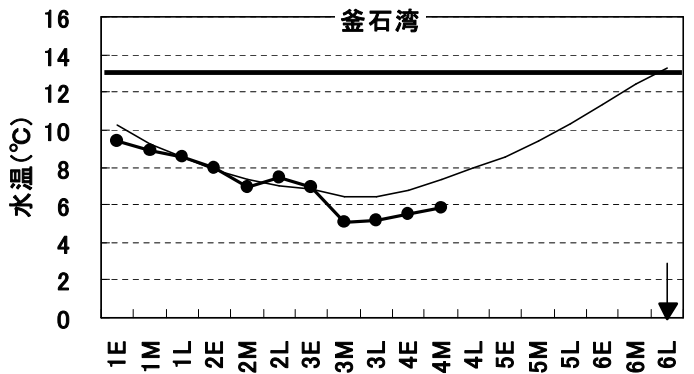
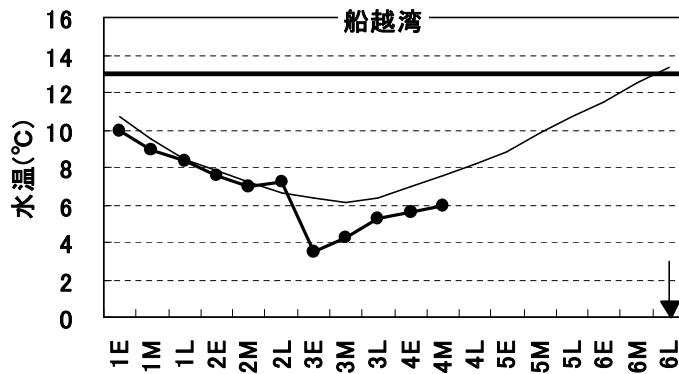
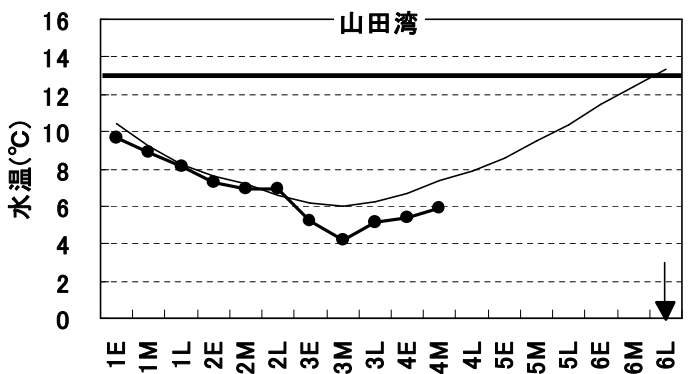
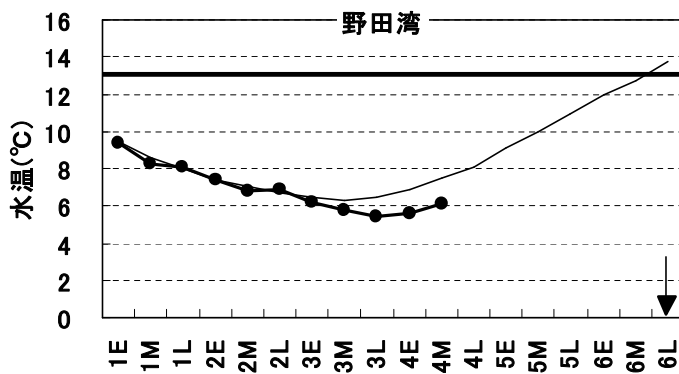


図3 6湾における表面水温の変化 (いわて大漁ナビ 定地水温情報)  
 黒い太線は水温 13°C、矢印は水温 13°Cに達する時期

春期に特徴的に出現するプランクトン4種 (いずれも親潮指標種)

A ネオカラヌス・ブルムクルス (もしくはフィレミンジャイ)  
*Neocalanus plumchrus* (もしくは *flemingeri*)



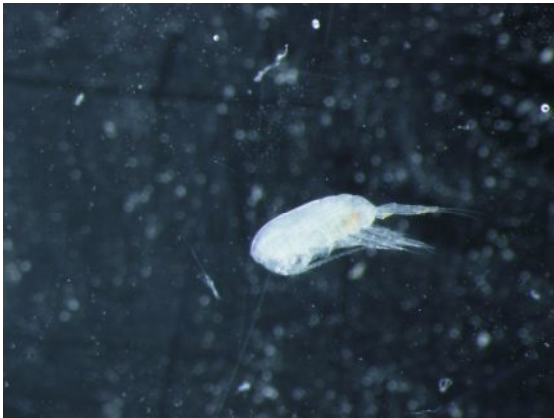
和名なし。  
体長 2 ~ 4 mm で、典型的な親潮指標種。  
特に外洋域に多い。

B ユウカラヌス・ブンギ *Eucalanus bungii*



和名なし。  
体長 2 ~ 4 mm で、典型的な親潮指標種。  
特に外洋域に多い。

C シュードカラヌス・マイヌータス (もしくはニューマニー)  
*Pseudocalanus minutus* (もしくは *newmani*)



和名なし。  
体長 1 mm 未満で、親潮指標種。  
沿岸から内湾域に多く出現。

D テミスト・ジャポニカ *Themisto japonica*



和名 ニホンウミノミ (地方名スムシ)。  
体長 4 ~ 10mm で、親潮指標種。  
イサダ漁で混獲され、濃密な群れを形成することがある。